



**飛躍への挑戦！**  
**高知県産業振興計画**

第3期物部川地域アクションプランの進捗状況等について  
平成29年度地域アクションプランの追加項目（案）

物 部 川 地 域 本 部

平成29年9月5日（火）



## 物部川地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 9 . 5

物部川地域本部

### 1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

#### (1) 総評

物部川地域においては、26 のアクションプランが推進されており、各種アドバイザーの導入のほか、助成制度の活用や研修会等への参加などにより、生産体制の充実、強化や販路拡大に向けた取り組みが着実に進められており、概ね順調に推移している。

農業分野では、日本一の生産量を誇るニラやシトウをはじめ、ユズやエメラルドメロンといった地域を代表する施設園芸の産地の維持やブランド化を目指し、省力化に向けた機器の導入や労働力の確保、新規就農者の育成など生産基盤の充実、拡大に向けた多様な取り組みを引き続き推進している。

還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化に向けた取り組みでは、1月に「次世代型ハウス」が完成し、本格的な生産体制が整ったことから、還元野菜の生産量の拡大や機能性の検証等の取り組みが加速化している。

日本一のヤギミルクの産地化を目指した取り組みとしては、4月に新畜舎等の整備が完了し、飼育、生産体制が強化された。ヤギの肥育頭数も徐々に増加しており、ヤギミルクやヤギ肉の生産体制が拡充され、さらなる売り上げアップも見込まれている。

林業分野では、各森林組合や林業事業者が主体となり、森の工場の拡大に向けた事業地の集約と原木の増産に向けて、間伐の促進や作業道の開設をはじめ、林業学校と連携した担い手の確保や、高性能林業機械の導入等による生産性の向上に取り組んでいる。

水産業分野では、香南市においてシイラを活用した加工品づくりが進められており、売り上げアップを目指して、衛生管理の向上など生産体制を強化するとともに、既存取引先との取引量拡大に向けて取り組んでいる。

商工業分野では、南国市において(株)海洋堂と連携した中心市街地活性化に取り組んでおり、その中心施設となる「ものづくりサポートセンター（仮称）」の整備に向けて、基本構想の策定や商店街の活性化策の検討などが着実に進められている。また、香美市でも、中心商店街の情報発信と交流の拠点となる「ふらっと中町」を核として、チャレンジショップやイベントなど通じて商店街の活性化に向けた取り組みが展開されている。

観光分野では、物部川流域3市の観光事業者や行政関係者で組織された「物部川DMO協議会」が2年目を迎え、この6月には2名の職員を新たに雇用するなど広域観光の推進体制が強化された。現在、ウェブサイト等を通じた観光情報の発信、旅行商品の造成・販売、地域観光の推進役となる人材の育成など、交流人口の拡大に向けて地域が一体となって取り組んでいる。

また、観光施設の拠点化に向けた取り組みも、それぞれの地域で進められている。特に、龍河洞では、本年3月に、龍河洞の関係者や県、市の職員等で構成される「龍河洞まちづくり協議会」が発足し、ワークショップ等を通じて官民協働による龍河洞エリアの活性化に向けた計画づくり等に取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>No.1 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市、香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A 土佐香美</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(日本一のニラ産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31園芸年度)]</p> <p>ニラ販売額: 29.7億円 &lt; H27園芸年度: 27.1億円 &gt;</p> <p>[H29園芸年度到達目標]</p> <p>ニラ販売額: 28.4億円</p> <p>[H28園芸年度到達状況]</p> <p>ニラ販売額: 27.8億円 → 実績 26.9億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニラ販売額(H28.8月~H29.5月): 20.9億円 (前年同期比 101%)</li> <li>・ そぐり機の活用状況の報告と事例集の配布(4~6月 8地区延べ 102名)</li> <li>・ 産地パワーアップ事業の変更計画に関する関係機関の協議(香美市 3回、香南市 2回)</li> <li>・ 省力化に向けたそぐり機の導入(8台予定)</li> <li>・ 新規就農後5年目までの農家を対象とした研修会の開催(4/21 6名)</li> <li>・ 「17食博覧会・大阪」でニラ塩焼そばの販売(4/28~5/7「点天」とのコラボ)</li> <li>・ 香南市農業活性化地域協議会ニラプロ部会の開催(6/12、7/10、8/16)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産者の高齢化 ⇒ 新規就農者の受入体制の強化</li> <li>・ 作業労働者の確保と労働力の軽減 ⇒ 国事業を活用した調整作業機械の更なる導入</li> </ul>
<p>■No.2 南国市の園芸基幹品目シシトウの振興(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A 南国市</li> <li>・ J A 長岡</li> <li>・ J A 十市</li> </ul>	<p>[目標(H31園芸年度)]</p> <p>J Aシシトウ出荷量: 760t &lt; H27園芸年度: 679t &gt;</p> <p>[H29園芸年度到達目標]</p> <p>J Aシシトウ出荷量: 720t</p> <p>[H28園芸年度到達状況]</p> <p>J Aシシトウ出荷量: 700t → 実績 677t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 J A 合同会議において産地ビジョン・産地目標(案)を承認(7/19)</li> <li>・ 3 J A 合同巡回での出荷物の品質確認の実施(5/10)</li> <li>・ I P M 技術等の推進に向けたアンケート形式による全戸実態調査の実施(長岡・南国 5/17、十市 6/29)</li> <li>・ J A 長岡シシトウ部会でかん水管理について現地検討会の実施(4/20)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別巡回指導(4回)で病害虫対策にかかる指導</li> <li>・3JA合同会議で省力可能な作業等に関する協議</li> <li>・経営改善志向農家の経営安定に向けた個別面談による経営目標の策定、栽培改善策の検討(11戸)・・・経営モデル農家の育成</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷量の増加及び販売額の維持</li> </ul> <p>⇒高収量安定生産技術の普及、労働力の確保、省力化対策</p>
<p>■No.3 還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル</li> <li>・(株)トリムエレクトリックマシナリー</li> <li>・高知大学</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(南国市還元野菜プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>協力農家の戸数:7戸(H28~31累計)&lt;H27:3戸&gt;</p> <p>「還元野菜」の売上:10,000千円&lt;H27:1,200千円&gt;</p> <p>機能性に基づく差別化ができた品目数:3品目</p> <p>(H28~31累計)&lt;H27:0品目&gt;</p> <p>[H29到達目標]</p> <p>協力農家の戸数:1戸</p> <p>「還元野菜」の売上:3,000千円</p> <p>機能性に基づく差別化ができた品目数:0品目</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>協力農家の戸数:0戸 → 実績0戸</p> <p>「還元野菜」の売上:2,500千円 → 実績0円</p> <p>機能性に基づく差別化ができた品目数:</p> <p>1品目 → 実績0品目</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力農家の戸数(6月末):0戸</li> <li>・還元野菜の売上(6月末):753千円</li> <li>・機能性に基づく差別化ができた品目数(6月末):0品目</li> <li>・還元野菜プロジェクト会議の開催(5/8) <ul style="list-style-type: none"> <li>→次世代型ハウスの視察、生産状況の確認(3月からピーマン、5月からパプリカの収穫開始)</li> <li>→かざぐるま市での還元野菜の販売について検討</li> </ul> </li> <li>・トリム顧客向けの還元野菜セットの販売(4~5月 251セット)</li> <li>・雇用労働者数(7月末):管理者1名、作業員7名 <ul style="list-style-type: none"> <li>→次作は、更なる増員を検討</li> </ul> </li> <li>・パプリカのパウダー、ピューレの試作(7月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒人的体制とノウハウの構築</li> </ul> </li> <li>・還元野菜の販売先の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒直販所でのコーナー設置にかかる仕組みづくり</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒還元野菜セット販売の拡大 ⇒地元レストランへの供給
<p>■No.5 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市</li> <li>・JA土佐香美</li> </ul>	<p>[目標(H31園芸年度)]</p> <p>ユズ販売額:5.2億円&lt;H27園芸年度:5.2億円&gt;</p> <p>[H29園芸年度到達目標]</p> <p>ユズ販売額:5億円</p> <p>[H28園芸年度到達状況]</p> <p>ユズ販売額:5.2億円 → 実績4.7億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ販売額(H29園芸年度):5.7億円(前年比117%)</li> <li>・産地協議会(3回)及び委員会(6回)の開催</li> <li>・若手生産者勉強会の開催(11回)</li> <li>・新規就農希望者の面談(7回 8名参加)</li> <li>→2名の就農前研修開始(Iターン1名、Uターン1名)</li> <li>・担い手に集積可能な園地の調査、紹介(2回)</li> <li>・着果安定技術マニュアルの配布(1回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の確保</li> <li>⇒市の移住窓口となっているNPOと連携した担い手の確保と大規模経営体の育成</li> </ul>
<p>■No.6 「なの市」「なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA長岡</li> <li>・(株)なの工房</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>直販所等の売上高:171,000千円&lt;H26:171,000千円&gt;</p> <p>直販所等の雇用者数:32人&lt;H26:32人&gt;</p> <p>[H29到達目標]</p> <p>直販所等の売上高:165,000千円</p> <p>直販所等の雇用者数:32人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>直販所等の売上高:160,000千円 → 実績144,000千円</p> <p>直販所等の雇用者数:31人 → 実績32人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販所等の売上高(6月末):40,493千円(前年同期比101%)</li> <li>・4周年記念イベントの開催(4月)</li> <li>・株主総会の開催(5/25)</li> <li>・ごめんの軽トラ市へ出店(5/14)</li> <li>・生産者会議の開催(7/12)</li> <li>・店舗の経営改善に向けた関係者間(なの市、JA長岡、南国市、県)の協議(7/20)</li> <li>・商工会ビアガーデンへ出展(7/21)</li> <li>・直販所活性化セミナーへの参加(8/1、全3回予定)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗全体の売上アップ ⇒アドバイザーの導入等による経営改善と店舗の営業戦略の確立</li> </ul>
<p>■No.8 地元野菜の消費拡大による地域農業の活性化(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル</li> <li>・農家レストランまほろば畑</li> <li>・南国市</li> <li>・道の駅南国風良里</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(南国市還元野菜プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給金額 6,455千円&lt;H26:5,373千円&gt;</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合 25% &lt;H26:20.81%&gt;</p> <p>業務筋への供給:25事業体&lt;H26:20事業体&gt;</p> <p>[H29到達目標]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給金額 6,455千円</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合 25%</p> <p>業務筋への供給:29事業体</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給金額 6,455千円 → 実績6,984千円</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合 25% → 実績21%</p> <p>業務筋への供給:25事業体 → 実績29事業体</p> <p>[取組状況]</p> <p>((株)南国スタイル)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食における地元野菜の供給金額(6月末): 3,064千円(前年同期比180.8%)</li> <li>・学校給食における地元野菜の供給割合(6月末) 37%(前年同時期18%)</li> <li>・業務筋への供給(6月末):29事業体</li> <li>・学校給食配送に関する3者(南国スタイル、市学校給食課、市農林水産課)協議(6/16)</li> <li>・地産地消・外商推進協議会の開催(7/24) (農家レストランまほろば畑)</li> <li>・農家レストラン開店日11日(7月末): 来店者数2,096人(1日平均191人)</li> <li>・まほろば畑通常総会の開催(7/18)</li> <li>・高知農業高校生レストランの開催(8/8 204人)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家レストラン運営メンバーの高齢化 ⇒労働時間削減に向けた組織体制と営業方法の見直し</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 農園レストランによる地域食材の消費拡大(南国市)</p> <p>《事業主体》 ・(株) ナイフアンドフォークカンパニー</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高: 200,500千円&lt;H26: 0円&gt; 食材の地産地消率: 83%&lt;H27: 83%&gt;</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高: 183,500千円 食材の地産地消率: 83%</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高: 175,000千円 → 実績 220,991千円 食材の地産地消率: 83% → 実績 83%</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高 (H28.10~H29.6月): 124,452千円 (前年同期比 71.4%)</li> <li>・地元食材(ヤギミルク、シャモ肉等)を活用したメニューの継続的な開発、提供</li> <li>・トリトンマルシェの開催(4月1回、5月3回)</li> <li>・店舗横の良心市における南国スタイル産の野菜の継続的な販売</li> <li>・JAF会員への期間限定優待企画の実施(5/20~6/30)</li> <li>・庭園にロンドンバスの設置</li> <li>・トリトン夜市の開催(7/29、8/5)</li> <li>・夏休みお子様フェアの開催(7~8月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の回復に向けた取り組みの強化 ⇒定期的なイベントや商品企画などの実施 ⇒マスコミや広報誌等を活用した継続的なPR活動の展開</li> </ul>
<p>■No.10 加工品販売による夜須地域の活性化(香南市)</p> <p>《事業主体》 ・協同組合やすらぎ市</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>加工品販売額: 1億円&lt;H26: 0.96億円&gt;</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>加工品販売額: 0.96億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>加工品販売額: 0.96億円 → 実績 0.96億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品販売額(6月末): 2,598万円(前年同期比 101%)</li> <li>・生産販売計画の検討及び販売実績の分析(6/22)</li> <li>・既存商品の改良及び新商品の開発、販売 (2アイテム→マーメイドメロンパン、ちぎって米粉パン)</li> <li>・店舗コンセプトに沿った加工品の試作研究及び加工技術の習得に向けた講習会の開催(2回、全4回予定)</li> <li>・山北みかんを活用した新たなスイーツの試作</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS等を活用した顧客への情報発信 (24回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加工技術と商品開発力の向上による商品の充実 ⇒アドバイザーの活用によるノウハウと技術の習得</li> </ul>
<p>■No. 11 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組 (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業組合ごめんシャモ研究会</li> <li>・ 南国市商工会</li> <li>・ 南国市</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>売上高 : 65,000 千円 &lt;H26 : 21,553 千円&gt;</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数 (市内) : 20 店舗 (累計) &lt;H26 : 19 店舗&gt;</p> <p>シャモ目標飼育羽数 : 3,000 羽 &lt;H26 : 1,859 羽&gt;</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高 : 50,000 千円</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数 : 20 店舗 (累計)</p> <p>シャモ目標飼育羽数 : 3,000 羽</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高 : 50,000 千円 → 実績 46,206 千円</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数 : 20 店舗 (累計) → 実績 18 店舗 (累計)</p> <p>シャモ目標飼育羽数 : 3,000 羽 → 実績 2,761 羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上高 (5月末) : 9,275 千円 (前年同期比 136%)</li> <li>・ ごめんケンカシャモ提供店舗数 (7月末) : 19 店舗 (累計)</li> <li>・ シャモ飼育羽数 (6月末) : 583 羽 (前年同時期 435 羽)</li> <li>・ 各種イベントへの出展 (5回)</li> <li>・ JAF PLUS 高知版 6月号に「南国市のご当地名産品プレゼント」して掲載</li> <li>・ 総会 (5/23)、定例会 (4/10、5/7、5/16、6/20、7/18) の開催</li> <li>・ 食鳥処理施設の完成 (7/26)、落成 (7/28)、稼働開始 (8月～)</li> <li>・ HACCP研修の受講 (5/18～5/19 2名、7/6～7/7 2名)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シャモ肉の安定的な供給 ⇒飼育マニュアルに基づく生産管理の徹底 ⇒飼育技術の向上による高品質化、均等化</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・川添ヤギ牧場</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 30,200千円 &lt; H26: 1,800千円 &gt;</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高: 9,010千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高: 5,400千円 → 実績 3,591千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高(1~6月): 2,384千円</li> <li>・ヤギ畜舎等の整備完了(4/10)</li> <li>・飼育ヤギ頭数(7月末): 130頭</li> <li>・パート雇用1名の正職員化(パート雇用は3名)</li> <li>・海外出展の打ち合わせ(5~7月)</li> <li>・土佐MBA(目指せ! 弥太郎商人塾)の受講(7月~)</li> <li>・ヤギ肉20頭分の販売が決定</li> <li>・各種メディアへの取材対応(TV、タウン誌等 随時)</li> <li>・地元保育園児と子ヤギのふれあいイベントへの協力(7/30)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤギミルクの販路の拡大 ⇒ヤギミルクの製造・販売事業者と連携した商品PRや営業活動の強化(バイヤー視察対応等)</li> </ul>
<p>■No. 13 民有林における原木の増産(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・各森林組合</p> <p>・林業事業体等</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>原木生産量(民有林のみ): 50,000 m<sup>3</sup> &lt; H26: 35,887 m<sup>3</sup> &gt;</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>原木生産量(民有林のみ): 47,000 m<sup>3</sup></p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>原木生産量(民有林のみ): 47,000 m<sup>3</sup> → 実績 41,294 m<sup>3</sup></p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原木生産量(6月末): 12,225 m<sup>3</sup> (前年同期比 87%)</li> <li>・市町村、森林組合、事業体への林業振興関連事業の説明会の開催(1回 4/28)</li> <li>・間伐事業の地元説明会(南国市黒滝地区)開催(7/24 参加者13人) → 事業実施の同意</li> <li>・香美市、南国市の広報誌に間伐PR記事の掲載(7月号)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原木の安定供給 ⇒安定的な事業地の確保 ⇒林業学校と連携した担い手の確保・育成と高性能林業機械の導入による生産性の向上</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 シイラ等の加工商材活用 (香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県漁協手結支所</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>シイラ加工事業の販売額：20,000 千円          &lt;H26：16,011 千円&gt;</p> <p>新たな魚種の取扱い尾数 (新規)：3,000 尾</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>シイラ加工事業の販売額：30,000 千円          新たな魚種の取扱い尾数：300 尾</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>シイラ加工事業の販売額：22,000 千円          → 実績 40,640 千円</p> <p>新たな魚種の取扱い尾数：300 尾 → 実績 0 尾</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シイラ加工事業の販売額 (7 月末)：12,362 千円              (前年同期比 72%)</li> <li>・原魚加工量 (7 月末)：34.5 t (前年同期比 53%)</li> <li>・カンパチの体調測定の実施 (5/19)</li> <li>・取引先との定期的な情報交換 (週 1～2 回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理の向上と生産体制の強化              ⇒「高知県食品衛生高度管理手法」に基づく自主管理マ              ニュアルの徹底と効率的な加工体制の構築</li> </ul>
<p>■No. 16 海洋堂ファクトリーと連携・連動し          た「ごめん」の賑わいづくり (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市商工会</li> <li>・南国市</li> <li>・南国市中心市街地活性化推進協議会</li> <li>・(株) 海洋堂</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>空き店舗活用数：7 件 (累計) &lt;H26：1 件 (累計) &gt;</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>空き店舗活用数：5 件 (累計)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>空き店舗活用数：4 件 (累計) → 実績 3 件 (累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市中心市街地活性化推進協議会の開催 (4/21、7/4、8/22)</li> <li>・(株)海洋堂の私蔵プラモデル選別リスト化ギネスチャレンジイベントの実施 (4/29～4/30)</li> <li>・「南国市ものづくりサポートセンター (仮称)」の整備に向けた関係者間 (海洋堂、市、県) の協議の実施 (5/12、6/27、7/27)</li> <li>・ごめんの軽トラ市の開催 (5/14 1,500 人)</li> <li>・南国市中心市街地活性化推進協議会メンバーによる関連施設 (DMM.make.akiba) 及びワンダーフェスティバルの視察 (7/29～7/30)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市ものづくりサポートセンター(仮称)の整備に向けた進捗状況の確認、検証、役割分担の徹底 ⇒海洋堂、商工会、市、県等の関係者による定例的な協議の実施</li> </ul>
<p>■No. 17 地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)ヤ・シィ</li> <li>・香南市</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>加工所兼店舗の売上高: 54,193千円 &lt; H27: 0円 &gt;</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>加工所兼店舗の売上高: 51,022千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>加工所兼店舗の売上高: 47,934千円 → 実績 10,628千円 (H28.7~H29.3月)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工所兼店舗の売上高(6月末): 4,115千円</li> <li>・HACCP研修の受講(5/18~5/19 店長1名)</li> <li>・高知県産品商談会へ参加(5/30)</li> <li>・井筒屋の母の日特集にギフトセット(8本入り)を掲載(5/14 納品 注文1件)</li> <li>・こうち生協のカタログ販売でアイスバー800本を納品(6/2 納品)</li> <li>・まるごと高知商談会へ参加(6/22)</li> <li>・「関西・中国・四国じゃらん」(7月号)道の駅アイスランキングに掲載</li> <li>・地元広報誌等に掲載(4回)</li> <li>・まるごと高知での販売開始(7/17 68本納品)</li> <li>・新メニューの開発・販売開始(7/18~ 2メニュー→アイスオレンジ、かき氷セット)</li> <li>・(株)ヤ・シィ直販土産物店でアイスバー3種類の販売開始(7/17~)</li> <li>・マリンフェスティバル YASU で販売(7/16)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスバーの売上アップ ⇒アドバイザーの導入による経営戦略の見直し ⇒販路の拡大に向けた商品PRや外商活動の強化</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 香美市における特産品づくりの推進 (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)香美市観光協会</li> <li>・(協)葦生の里</li> <li>・奥ものべじじばあんぜん会</li> <li>・コハマ農産物直販所</li> <li>・香美市</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>開発商品売上高：10,000 千円 (17 商品)  &lt;H26：8,717 千円 (14 商品) &gt;</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>開発商品売上高：9,000 千円 (15 商品)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>開発商品売上高：  8,800 千円 (15 商品) → 実績 12,370 円 (15 商品)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発商品売上高 (6 月末)：1,890 千円 (前年同期比 90%)</li> <li>・県 6 次産業化支援チームによる「(協)葦生の里 (にろうまいこ)」の支援 (2 回)</li> <li>・各種イベントへの出展による特産品の販売 (8 回)</li> <li>・集落の活力づくり支援事業の導入による機器 (シーラー) の整備 (予定 葦生の里)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品のラインナップの充実と商品力の強化  ⇒各種の支援制度の活用による新商品づくり、既存商品のブラッシュアップ</li> </ul>
<p>■No. 21 土佐山田えびす商店街を中心とする 地域の活性化 (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市商工会</li> <li>・えびす街協同組合</li> <li>・地域活動団体</li> <li>・香美市</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業：16 件 (H28～31 累計)  &lt;H27：3 件&gt;</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業：4 件</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業：4 件 → 実績 2 件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗を活用した新規開業：4 件</li> <li>・ふらっと中町へ地域支援員 (1 名) の継続配置</li> <li>・チャレンジショップ運営員 (1 名) の継続配置</li> <li>・チャレンジショップ運営委員会開催 (4 回)</li> <li>・えびす商店街活性化検討委員会開催 (4 回)</li> <li>・ふらっと中町での集客イベント (お花見会、いなかみライフセミナー、オカリナコンサート等) の開催</li> <li>・ふらっと中町での「こども食堂」の開設 (8 月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジショップのチャレンジャーの獲得  ⇒募集チラシの配布などによる PR 強化</li> <li>・「ふらっと中町」の活用方法の再検討  ⇒関係者間で協議、調整</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 広域観光の取組の推進(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会</li> <li>・物部川DMO協議会</li> <li>・(株)ものべみらい</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>観光客入込数：144.5万人&lt;H26：134.1万人&gt;</p> <p>[H29到達目標]</p> <p>観光客入込数：153.7万人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>観光客入込数：153.7万人 → 実績140.2万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客入込数(1～6月)：68.6万人(前年同期比99%)</li> <li>・高知中央広域観光協議会総会の開催(4/18) →H29事業計画、予算案の承認等(広域観光パンフレットの作成・配布、山陰・四国周遊スタンプラリーへの参加)</li> <li>・物部川DMO協議会の職員(2名)を新たに雇用(6/22～)</li> <li>・物部川DMO協議会総会の開催(6/21) →H28事業報告、決算、H29事業計画、予算案の承認等</li> <li>・高知中央広域広報パンフレット「中央高知じゃらん」の作成(9月予定)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物部川DMO協議会を中心とした具体的な取り組みの実践 ⇒地域の観光資源の磨き上げ、周遊コースづくりなど旅行商品の造成、売り込み、観光人材の育成</li> </ul>
<p>■No. 23 南国市の地域資源を活用した参加型観光の推進(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)南国市観光協会</li> <li>・南国市観光クラスター連絡協議会</li> <li>・市内各観光に関わる企業・団体・グループ</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要4観光施設の観光客入込数：55.5万人 &lt;H26：53.9万人&gt;</p> <p>[H29到達目標]</p> <p>主要4観光施設の観光客入込数：55.5万人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>主要4観光施設の観光客入込数：55.5万人 → 実績53.4万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要4観光施設の観光客入込数(1～6月)：25.4万人 (前年同期比85%)</li> <li>・各種イベントの開催 岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリ(4/1～4/2) ：8,000人 ごめんな祭(5/8)：2,300人 長宗我部フェス(5/20)：2,800人 土佐のまほろば祭り(8/5)</li> <li>・南国市観光協会総会の開催(5/23)</li> <li>・南国市観光案内人の会による後免エリアガイド第二期講座の実施(5回、受講者 延べ46人)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型メニューの充実 ⇒南国市クラスター連絡協議会での周遊コースの造成、旅行商品づくり</li> </ul>
<p>■No. 24 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)香南市観光協会</li> <li>・香南市</li> <li>・香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会</li> <li>・香南市観光クラスター協議会</li> <li>・地域の体験メニュー等提供団体</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(日本一のニラ産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>観光客入込数:55万人&lt;H26:51.8万人&gt;</p> <p>[H29到達目標]</p> <p>観光客入込数:70万人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>観光客入込数:70万人 → 実績60.6万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客入込数(1~6月):31.6万人(前年同期比106%)</li> <li>・新聞バッグづくり体験の実施(4/21 香川県藤井中学校88名)</li> <li>・モニターツアーの開催(7/20 参加者13名)</li> <li>・歌舞伎をテーマにしたワークショップ等の開催(27回、参加者 延べ319人)</li> <li>・香南市観光施設連絡会(観光クラスター協議会の位置づけ)の開催(4/26)</li> <li>・クルーズ客船の高知新港寄港時に特産品販売(3回)</li> <li>・各種イベントでの観光PRの展開(絵金祭り、みなこい港祭り等)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制の強化 ⇒安定的な職員の確保及び専門知識やノウハウの習得 ⇒旅行業務取扱管理者の確保</li> </ul>
<p>■No. 25 三宝山プロジェクト(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香南市</li> <li>・民間事業者(予定)</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>観光客入込数:20万人&lt;H27:0人&gt;</p> <p>[H29到達目標]</p> <p>—</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地・建物所有者との無償貸借契約締結(H29~、5年間)</li> <li>・拠点化に向けた香南市職員等によるワークショップの開催(4~6月 4回)</li> <li>・庁内ワーキングメンバーによる協力予定事業者への訪問(5/30)</li> <li>・運営事業者の公募に向けた関係者間の協議、調整(7月~)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	[課題と今後の対応] ・運営事業者の確保 ⇒公募にかかる県内事業者等へのPR
<b>■No. 26 香美市における滞在型・体験型観光の推進(香美市)</b>  《事業主体》 ・香美市 ・(一社)香美市観光協会 ・(株)香北ふるさとみらい ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体	[目標(H31)] 主要4観光施設の入込数:340,000人<H26:284,665人> [H29到達目標] 主要4観光施設の入込数:282,000人 [H28到達状況] 主要3観光施設の入込数:282,000人 →実績262,610人 [取組状況] ・主要4観光施設の入込客数(1~6月):115,665人 (前年同期比117%) ・「シカニクの日べふ峡温泉スプリングフェスタ」の開催(4/29):1,094人 ・日ノ御子河川公園キャンプ場の期間限定オープン(GW、夏季限定(8/5~8/20)) ・とさてらすでの観光PRの展開(7/29~7/30) ・香美市三大祭りの開催(7/27川上様夏祭り、8/5土佐山田祭り、8/14奥物部湖湖水祭) [課題と今後の対応] ・組織体制の強化 ⇒体験観光メニューの受け入れ体制づくりと情報発信の充実

## 2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位:千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

## 3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

[追加] ■龍河洞エリア活性化推進プロジェクト《香美市》

(概要)「龍河洞まちづくり協議会」(地域住民、龍河洞保存会、商店街、香美市、県等で構成)が龍河洞エリア活性化基本計画を策定し、官民協働により実行することで、龍河洞エリアの活性化を図る。

## 4 県民参画に向けた取組

- ・香美市行政連絡会で第3期産業振興計画 ver.2の説明(4/22、4/25)
- ・香美市商工会総会における第3期産業振興計画 ver.2の説明及び産業振興計画シンポジウム参加の呼び掛け(5/25)



- ・産業振興計画シンポジウムの開催（5/30）
- ・高知銀行との連絡会における第3期産業振興計画 ver. 2 及び地域アクションプランの説明（6/29）

5 相談案件：4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	6/6	食品加工	ワイン醸造施設整備について
2	6/13	食品加工	製塩施設整備について
3	7/4	サービス	ブライダル式場整備について
4	8/17	食品加工	乾燥野菜の販路拡大について



有望素材シート（29年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	香美市	素材名	龍河洞
		関連素材	周辺観光施設

現状・課題	<p>&lt;現状&gt;</p> <p>「日本三大鍾乳洞」の一つである龍河洞は、最盛期には100万人観光を誇っていたが、施設の老朽化や効率的かつ戦略的な情報発信・PRの不足等により観光客入込数は減少し、近年は10～11万人で推移している。</p> <p>平成29年3月、このような状況を打開すべく、地域住民、龍河洞保存会、商店街、香美市、県等関係者が一体となり、「龍河洞まちづくり協議会」を設立。現在、官民協働により、月1～2回のペースで龍河洞エリア全体の活性化に向けたワークショップや意見交換を重ね、龍河洞エリア活性化の柱となる基本計画の策定に向けて、ターゲットやコンセプト、事業計画等について議論している。</p>
	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行ニーズの変化への対応（ブームの退潮、団体旅行の減少に対応した策の打ち出しができていない）</li> <li>・戦略的な情報発信が不十分（ターゲットとタイミングを捉えたPR、観光資源としての価値を訴求できていない）</li> <li>・施設や商店街の老朽化、マンネリ化（にぎわいの創出、滞在環境の整備ができていない）</li> </ul>
方今後性の	<p>エリア全体の活性化に向けて、「龍河洞まちづくり協議会」として目指すべき方向性を議論し、本年11月を目処に龍河洞エリア活性化基本計画を策定する。役割分担を明確にし、基本計画に盛り込まれた具体的な計画を実行するとともに、進捗状況について協議会で定期的に確認していく。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	龍河洞エリア活性化推進プロジェクト
	関係市町村名	香美市

概要の	<p>「龍河洞まちづくり協議会」（地域住民、龍河洞保存会、商店街、香美市、県等で構成）が策定する龍河洞エリア活性化基本計画をもとに、『体制づくり』『魅力づくり』『戦略づくり』を柱に関係機関が連携して取り組みを実施することで、龍河洞エリアの活性化を図る。</p>
-----	--

事業主体等	<p>【事業主体】 龍河洞まちづくり協議会、（公財）龍河洞保存会、（株）ものべみらい、香美市</p> <p>【関係機関】 高知県</p>
-------	--

取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	【体制づくり】				
・「龍河洞まちづくり協議会」の確立	・「龍河洞まちづくり協議会」の確立				
・基本計画の策定・推進	・基本計画の策定 ・計画の進め方について協議	計画の実行・進捗管理(PDCA)			
・戦略的な施設運営を行うための体制強化		・新たな運営体制の構築			
【魅力づくり】					
・施設の改修及び空き店舗対策		・本洞や施設のブラッシュアップ及び改修 ・商店街の空き店舗の活用 ・街並みの再生			
・周辺施設との連携		・物部川エリアの「アンパンマンミュージアム」「三宝山」「のいち動物公園」等との連携			
【戦略づくり】					
・マーケティング調査		・マーケティング調査、分析			
・広報、PR		・ターゲットとタイミングを捉えたPRの実施			
・集客イベントの開催		・既存イベントの磨き上げ ・ターゲットやシーズンに応じたイベントの開催			

指標・目標	項目	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	観光客入込数	11万人				検討中
	【設定根拠】	【推計の考え方】 観光拠点である龍河洞の再整備を行うことで龍河洞エリアの地力を高めるとともに、エリアにある食、自然、アクティビティ等を活かした観光クラスターを形成する。また、「のいち動物公園」や「アンパンマンミュージアム」等と連携し、観光周遊コースを造成する。目標とする観光客入込数は、今年度、「龍河洞まちづくり協議会」において、基本計画を策定するなかで、設定する。				

総事業費等	総事業費	千円	(うち29年度	千円)
	(内訳 国 :	県 :	市町村 :	その他 :
	想定する支援事業 (補助金名称、人的支援の内容、その他)	国 :		
		県 : 高知県観光拠点等整備事業費補助金		
		人的支援 :		
	その他 :			

備考	
----	--

追加項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 龍河洞エリア活性化推進プロジェクト 《香美市》	「龍河洞まちづくり協議会」(地域住民、龍河洞保存会、商店街、香美市、県等で構成)が龍河洞エリア活性化基本計画を策定し、官民協働により実行することで、龍河洞エリアの活性化を図る。	・龍河洞まちづくり協議会 ・(公財)龍河洞保存会 ・(株)ものべみらい ・香美市	アクションプランの取組開始:H29		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「龍河洞まちづくり協議会」の確立</li> <li>◆基本計画の策定・推進</li> <li>◆戦略的な施設運営を行うための体制強化</li> <li>◆施設の改修及び空き店舗対策</li> <li>◆周辺施設との連携</li> <li>◆マーケティング調査</li> <li>◆広報、PR</li> <li>◆集客イベントの開催</li> </ul>

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
	<p>龍河洞まちづくり協議会の確立</p> <p>龍河洞まちづくり協議会の確立</p>					
	<p>基本計画の策定・推進</p> <p>・基本計画の策定 ・計画の進め方について協議</p>	<p>計画の実行・進捗管理(PDCA)</p>				
		<p>戦略的な施設運営を行うための体制強化</p> <p>新たな運営体制の構築</p>				
		<p>施設の改修及び空き店舗対策</p> <p>・本洞や施設のブラッシュアップ及び改修 ・商店街の空き店舗の活用 ・街並みの再生</p>				
		<p>周辺施設との連携</p> <p>物部川エリアの「アンパンマンミュージアム」や「三宝山」「のいち動物公園」等との連携</p>				
		<p>マーケティング調査</p> <p>マーケティング調査、分析</p>				
		<p>広報・PR</p> <p>ターゲットとタイミングを捉えたPRの実施</p>				
		<p>集客イベントの開催</p> <p>・既存イベントの磨き上げ ・ターゲットやシーズンに応じたイベントの開催</p>				